

吉

良と上杉の「三重の縁」などを紹介 岩瀬文庫特別講座「吉良家と上杉家～義の系譜～」



12月14日は元禄赤穂事件の吉良屋敷への討ち入りの日で、吉良義央公の命日です。故人の遺徳をしのび、第310回吉良義央公毎歳忌が吉良町華蔵寺で行われました。

これを記念し、横須賀ふれあいセンターに場所を移して催された岩瀬文庫特別講座では、米沢藩上杉家第17代当主の上杉邦憲氏が講演。立ち見ができるほどの盛況の中、吉良家と上杉家の「三重の縁」の詳細などをご自身の意見を交えながら分かりやすく話していただきました。中でも、吉良家最後の義周が21歳でこの世を去った人生に「今でも、この人の話をすると涙が溢れる」と先祖に思いをはせていました。



初

開催の愛知こどもの国で快走！ にしお駅伝フェスティバル2012

12月16日、にしお駅伝フェスティバル2012が開催されました。会場が愛知こどもの国になって初めての今大会。高



校一般、小学生、中学生、シニア、フレンドリーの各部で計188チーム、総勢約1,200人が参加し行われました。号砲が鳴り響くと選手たちが一斉にスタート。上り、下りがたくさんある難関コースをたすきをつなぎながら、思い思いのペースで快走していました。沿道からは家族や友人などの声援が飛び交い、三ヶ根の山々に見守られながら盛大に行われました。



海

に山に、輝かしい新年を迎える 初日の出イベント



1月1日の早朝、吉良ワイキキビーチや三ヶ根山スカイラインには初日の出を見ようと多くの家族連れや若者グループなどが詰め掛けました。

恵比寿海水浴場と三ヶ根山スカイライン山頂駐車場のそれぞれの会場では、甘酒や豚汁などが振る舞われ、日の出を待つ人たちはひとときの暖を取っていました。

いよいよ日の出のときを迎えると、自然と歓声が沸き起こり、人々は日の出をカメラに収めたり、太陽に手を合わせたりしていました。



12/11

六万石くるりんバスが寄贈 されました



西三河農業協同組合からコミュニティバスが寄贈され、市街地線の六万石くるりんバスとして運行を開始しました。

12/20

名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク

名鉄西尾・蒲郡線の存続を願い、西尾高等学校の1・2年生約660人がこどもの国駅から西尾駅までの沿線を歩きました。



12/21

第23回がほちゃサミット



全国からさまざまな種類のカボチャが東幡豆町の妙善寺に集まり、大きさや形などを競いました。

12/27
~1/8

西尾の玩具と干支展

おしろタウン・シャオで開催され、きらら鈴や今年の干支である巳の置物などが展示・販売されました。



1/2-3

愛知こどもの国で ジャンボカルタとり大会

新春恒例のジャンボカルタとり大会が行われ、たくさんの家族連れの参加により、大いに盛り上がりました。



今月の表紙

1月3日に熱池町八幡社で行われた「てんでこ祭」。「テンテコ・テン」と打ち鳴らす子締太鼓の拍子に合わせ、赤装束を身に着けた厄男たちが、腰に付けたダイコンを振りながら境内を練り歩く奇妙な姿に、参拝者は思わず笑みを浮かべながら見入っていました。

編集 雑記

クライマックスは30分間…。しかし、祭りが終わった時が次の祭りの始まりといえます。氏子たちは、高さ5m・重さ2tの「すずみ」2基を作るために何か月前から神木となる栃の木や茅などの材料を選定・収集。前日には総出で「すずみ」を組み上げます。祭りの主役である神男は「福地」・「乾地」と呼ばれる各地区から1人ずつ選ばれ、祭りまでの3日間、神社にこもり身を清めます。2月10日(日)は「鳥羽の火祭り」です。祭りに込められた思いを取材したいと思います。(み)

新

たな1年の幸福を願って 三河万歳「新春の舞」を披露



1月4日、市役所市民ロビーで西野町小学校御殿万歳部による三河万歳「新春の舞」が行われました。

700年以上の歴史を誇り、国の重要無形民俗文化財に指定されているこの三河万歳は、長寿を祝い、長命を祈り、家が永久に栄えることを初春にことほぐ伝統的な民俗芸能です。袴姿の太刀持ちと取締を背に、直垂に烏帽子を身に着けた太夫と才蔵が賀詞を掛け合いながら舞を披露すると、ロビーに集まった観客からは大きな拍手が送られました。

火

の用心 守る貴方は 福の神 平成25年西尾市消防出初式



1月6日、文化会館南駐車場で消防職員・消防団員255人が参加し、消防出初式が挙行されました。消防車両21台による分列行進、部隊訓練、一斉放水などの各種訓練が、厳粛な規律の下に披露されました。恒例のかくし絵では、消防署、消防団、市民消火隊らが一斉に巨大な壁面に放水すると、公募した防火標語の最優秀賞である「火の用心 守る貴方は 福の神」の標語と、今年の干支にちなんだ白蛇、恵比寿、大黒が姿を現し、観衆から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。三連はしご操法でも他の入賞した標語が披露され、入賞者への表彰も合わせて行われました。

